

## 行政連絡会を通して各市町村の道路管理者に依頼しました

静岡県、山梨県のそれぞれで行政連絡会が開催されました。

その連絡会で「富士山ロングトレイル」の構想についてと設定に関する条件を説明し、それぞれの市町村で隣接する市町村をも考慮したルート案の策定について依頼しています。

今回のルートの一番重要な点は「安全」です。安全にウォーキング、サイクリングするためには、道路管理者の意見は重要です。まずは管理者にルート案を策定してもらい、そのあと現地調査等を行ってルートを設定していきたいと思っています。



第 1 回 静岡県行政連絡会



第 2 回 静岡県行政連絡会



安全で魅力的なウォーキング・サイクリングルートの設定には道路管理者との調整が不可欠！  
また暮らしている人の地域に根ざした情報もとっても大切です



ぐるり・富士山風景街道アクションネットワーク ニュースレター

4号

# ぐるり通信

発行日:平成 21 年 3 月  
事務局:NPO 法人地域づくりサポートネット  
NPO 法人CCCMまちづくり

## 富士山ロングトレイルをつくります！

ぐるり・富士山風景街道は国道 138 号、139 号、469 号およびその周辺が対象範囲です。これらの国道は車も人も自転車もちろん走れますが、主役はやはり車！ぐるり・富士山風景街道として、人が主役の富士山をぐるりと回れる安全、安心、しかも魅力的なコースを設定し、多くの人が車以外で富士山をめくってもらおうと思っていました。

そこで、

安全・安心しかも地域の魅力が満載！

### 富士山ロングトレイル・・・を設定します

広い範囲です。11の市町村と多くの方々が暮らしています。昨年度より色々な方から情報や意見を聞いて設定案を策定し、現地を歩く調査を行い、設定したいと思っています。

アクションネットワークのメンバーの方には多方面でご協力をお願いすることになるとおもいます。事務局より声がかかったときは、是非、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



まずは  
ルート設定の基本条件の整理です。

富士山ロングトレイルは・・・

歩行者ルートと自転車ルートを設定します

メインルートとそれに接続するサブルートあわせて設定します。

メインルートは安全、快適に富士山の風景などが堪能できるルートです

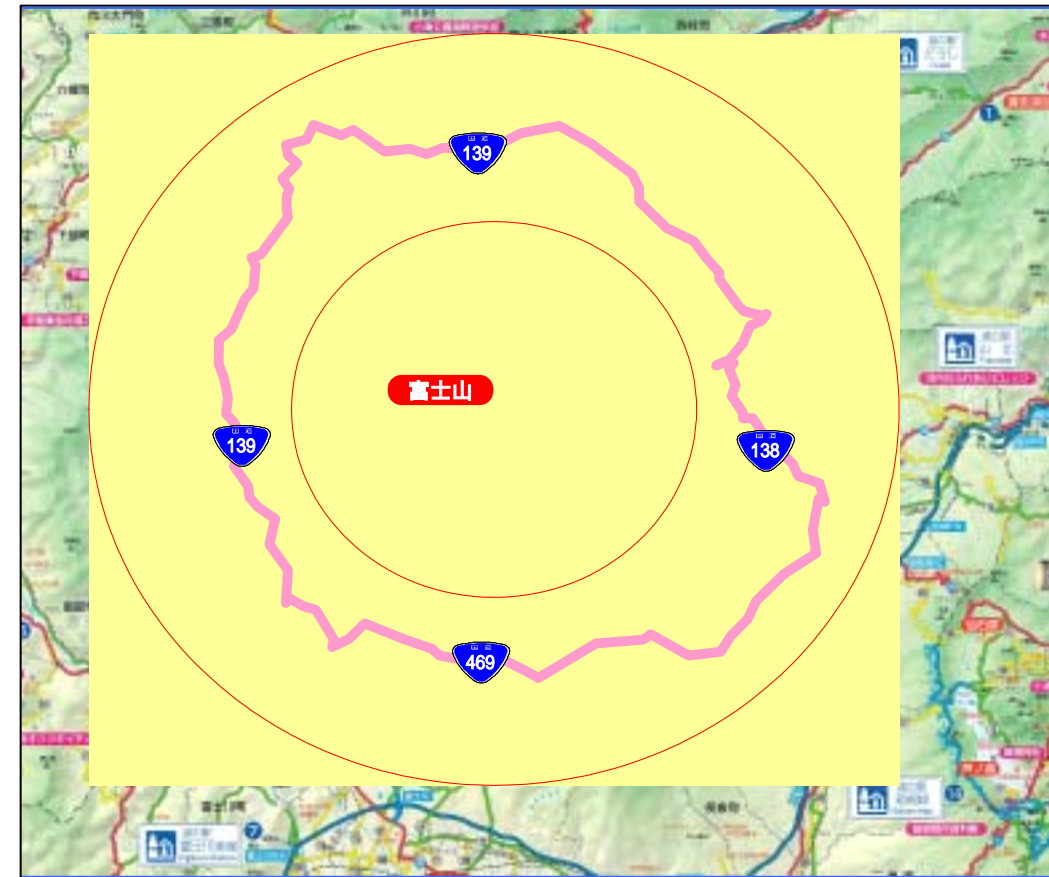
サブルートは地区の魅力をよりきめ細かく堪能できるルートです

## さらに細かい条件設定！ウォーキング編

	メインルート	サブルート
対象者	地域の魅力を楽しみながらの探訪散策するウォーキング愛好者	ウォーキング愛好者だけでなく、一般グループ、ファミリーなど
スタイル	時間をかけて富士山一周ウォーキングを行うスタイル、また観光などで訪れて1日歩くスタイルなど。(1日の走行距離が概ね10~20km程度、時間にして3~5時間程度)	立ち寄った人が気楽に地域の魅力を楽しむために歩くという場合を想定します。(1ルートの走行距離が概ね3~8km程度、時間にして2~3時間程度)
道路状況	道路法に規定される道路に設定することを基本とします。 一部農道、林道、その他で歩行者の通行が可能な路線を含むこともありますが、その場合、区間によっては道路管理者等の了解を得ていきます。 自動車交通量が多いなど、ウォーキングが安全でない路線はさけます。 特に車の走行スピードが速い区間は、設定時に留意が必要です。(看板等注意勧告、制限速度抑制、ハンプ等速度抑制装置設置など)	
路面	一般的なウォーキングシューズで、普通に歩ける路面であること。	一般的な運動靴等で、普通に歩ける路面であること。(冬季凍結などにより通行不可となるような区間はその旨を把握しておく必要があります。)
その他	名所旧跡、眺望のよい場所、拠点施設などに立ち寄ることができること。	

## さらに細かい条件設定！サイクリング編

	メインルート	サブルート
対象者	サイクリング愛好者(クロスバイク、ランドナータイプ利用層)を想定します。	サイクリング愛好家だけでなく、一般グループ、ファミリーが、比較的ゆっくりと楽しむ人
スタイル	数日かけて富士山一周サイクリングを楽しむスタイル、観光客として富士山の眺望など地域の魅力を訪ねるスタイル(リピーターも想定)などを想定。1日の走行距離が概ね30~50km程度、時間にして3~5時間程度とします。場合により隣接市町村をまたぐ移動も考えられます。	自転車を持参、あるいはレンタサイクルなどで、拠点施設から出発し到着する形のサイクリングを想定。 将来は路線バスへの自転車持ち込みなどを検討します。(1ルートが約10km(一部メインルート等を利用可)約2時間程度を基本とします。)
道路状況	道路法に規定される道路に設定することを基本とします。 一部農道、林道、その他で自転車の通行が可能な路線を含むこともありますが、この場合、区間によっては道路管理者の了解を得る必要があります。	
	自動車交通量が多く、自転車走行が安全でないと思われる路線はさけます。(交通量、道路幅員・横断構成、自転車通行可の歩道の有無等)	自動車交通量が多いなど、自転車走行が安全でないと思われる路線はさけます。特に車の走行スピードが速い区間は、設定に際し留意が必要です。(看板等注意勧告、制限速度抑制、ハンプ等速度抑制装置設置など)
路面	アスファルト等走りやすい素材で舗装された道路とします。ごく短区間であれば未舗装等も可とします。	基本的には平坦地で、アスファルト等走りやすい素材で舗装された道路。一部短区間で勾配、未舗装区間があっても可とします。
その他	名所旧跡、眺望のよい場所、拠点施設、休憩施設などに立ち寄ることを想定します。 上記以外にマウンテンバイク、オフロードバイクなどのためのコース設定もありません。その場合はルート表示の際に、適する自転車車種を明示する必要があります。	



## 自転車のタイプによって種族が違う??

「自転車」といっても以下のような種類があります。自転車は、この種類によってニーズが全く違うのです。例えば、ロードバイクタイプは、舗装した凹凸の舗装道路を速く長い距離(数十キロ)を走るスタイルの人が乗る自転車で服装も競技者のように風の抵抗が少ないパッチリタイプです。マウンテンバイクは、舗装していない道を人によっては道のないところでも走るスタイルの人が乗る自転車で服装も転んでもケガをしないような服装です。

自転車といっても一つではなく、全く異なるモノだとおもったほうがいいようです。

- 1.ロードバイク : 一般道路を速く走れるプロが使うような自転車
- 2.ランドナー : 日本一周など長距離用で耐久性を強化
- 3.クロスバイク : マウンテンバイクとロードバイクの中間
- 4.マウンテンバイク : 山も走れるサスペンションのある自転車
- 5.コンフォートクロス : マウンテンバイクとママチャリの中間
- 6.ママチャリ : 巷で見かけるカゴ付自転車
- 7.折り畳み自転車 : 折り畳んで気軽に持ち運べる自転車

お互い認めて  
あっているけれど  
仲良しでは  
ないみたい…

